令和６年度事業報告

事業計画の内容	事業報告
「第３次５カ年計画」（２０２４年～２０２８年）を着実に推進するために、「令和６年度事業計画」を作成し、事業を実施します。 **目指す姿　＜将来にわたり持続可能な運営を目指す＞** **プラン１　その人らしく生きることを支援する** **［安井保育園］** **（１）法人理念、保育理念をもとに子どもの最善の利益を考えた保育を提供します** ①子ども一人ひとりの発達や家族のを把握します ②各クラスで年間目標をもとに月案、週案を立案し、振り返りをします **（２）一人ひとりに寄り添い生きる土台を創る保育を提供します** ①様々な遊びを通して五感を育てます ②室内では、基本、はだしで過ごし、年齢を考慮した運動遊びや散歩を取り入れます ③年齢別保育を基本とし、自分が大切にされる心地よさを感じ、仲間も大切する気持ちを育みます ④行事などを通して異年齢児と関わる機会を持ちます ⑤野菜の栽培、クッキング、食べるを通して食に関心を持ち、大切さを身につけます **（３）保育の質を高めるために取り組みます** ①各クラス、幼児、乳児クラス別に学習会を行います ②公開保育を行い、他のクラスの担任からの助言等を取り入れます ③保護者参観を年２回行い、振り返る機会を作ります ④外部講師による保育指導を受け振り返ります ⑤発達が気になる園児の支援方法を学び、統一した支援を行います ⑥保育情勢を継続して学ぶことで新しい視点を身につけます **（４）適正な職員配置を維持します** ①各年齢の配置基準を維持します ②発達が気になる園児のクラスにはフリー職員を適宜配置します **（５）産休明け保育開始に向けて準備する** ①次年度の受け入れに向けて、備品等購入を計画的に進めます ②０歳児保育室の環境を整備します ③産休明け保育実施に向けてのマニュアルを作成します ④６カ月未満児着用のモニターを準備します（３月） ⑤実施済みの他園の状況から課題を把握します	「第３次５カ年計画」（２０２４年～２０２８年）を着実に推進するために、「令和６年度事業計画」を作成し、事業を実施しました。 **目指す姿　＜将来にわたり持続可能な運営を目指す＞** **プラン１　その人らしく生きることを支援する** **［安井保育園］** **（１）**① 全園児について、個別に目標を持ち、保護者懇談を行いました。 ② 各クラス、週１回の振り返りと園児の育ちを確認し、次週の保育案につながるようにしました。 **（２）**① 乳児は全身を使ったボディペインティング、氷や泡を使った感触あそびなどを行い、幼児はクッキング保育を行いました。 ② １歳児から５歳児は散歩を取り入れ、自然に触れました。０歳児は園庭やホール中心に遊びました。 ③ 園児の気持ちを、受けとめることを大切しました。友だちの気持ちにも気づくように声かけを行いました。 ④ 5 歳児が 0 歳児、1 歳児クラスに入り、一緒に遊んだり着替えを手伝ったりすることで、年少児に係る経験を積みました。 ⑤ １歳児から５歳児のクラスが、夏野菜、冬野菜を栽培、収穫し、クッキングに係りました。自分たちが育てた野菜を食べることで、関心が高まりました。 **（３）**① 各クラス別では、安全管理、防災学習会、幼児、乳児クラス別では、園児の対応の学習会を行いました。 ② 保育指導を計７回行い、学習会も行いました。 ③ 保護者参観では、園児の様子を見てもらい、保護者どうしの意見交換をしました。 ④ 外部講師による保育指導と、学習会を７回行いました。 ⑤ 支援方法を学び、クラスで共有しました。 ⑥ 西宮市内の就学前の児童の状況や子ども誰でも通園制度などの情報を共有しました。 **（４）**① 配置基準を維持し、常勤的非常勤の保育教諭１名をフリーとして配置しました。 ② パート保育教諭、常勤的非常勤の保育教諭が担当しました。 **（５）**① 生後５か月の園児１名を 2025 年４月に受入れ予定として、西宮市に届け出ました。 ② 産休明け保育の希望者はなかったため、備品等の購入は 2025 年度度以降に行います。 ③ マニュアル作成は 2025 年度に準備することにしました。 ④ 入園がないため次年度以降に行います。 ⑤ 民間保育園で行っている他園より、他園より話を聞きましたが、本園は生後 5 か月からの受け入れなので、あまり変化はないことを確認しました。

プラン２　仕事を通じて人を育てる	プラン２　仕事を通じて人を育てる
［安井保育園］ **（１）外部研修に参加し伝達講習を行います。** ①夙川さくら保育園と交換研修は、未実施の保育士を中心に行います ②北山学園と交換研修は、加配対象児、発達が気になる園児のクラスの保育士を中心に行います。 ③保育セミナー（４月）、全国保育合同研修会に参加（７月）します。 ④障害児保育研修、保育所保育士対象研修に参加します。 ⑤自己研修制度を活用した研修をすすめます。 **（２）西宮市私立保育協会主催研修・永年勤続表彰式へ出席します。** ①勤続５年、１０年、２０年の保育士が出席し、モチベーション向上の機会にします。 **（３）園内研修を定期的に行い、自己の保育を振り返り、次に生かします。** ①テーマ別研修を毎月行います。（保育内容、関わり、防災、人権尊重、虐待防止、安全管理） ②保育情勢、子育て支援制度の園内研修を年に２回行います。 **（４）６等級職員は保育マイスター資格取得に向けて、必要な研修を受講します。** **（５）園長、係長が職員面談を行います。** ①係長、主任は正規職員と目標管理シートをもとに面談をおこないます。 ②園長は、全職員の面談を、自己振り返りシートをもとに年に２回行います。	**［安井保育園］** **（１）**①　交換研修に２名が参加し、各クラスの保育に学んだことを生かしています。 ②　１１月に１名行い、支援方法を学びました。 ③　保育セミナーに延べ 29 名、全国保育合同研修会に７名が参加しました。 ④　障害児保育研修に１名、西宮市の保育所保育士対象研修に５名が参加しました。 ⑤　８名がキャリアアップ研修に参加しました。 **（２）**①　勤続１０年の職員３名、２０年の職員１名が参加しました。 **（３）**①　人権尊重に関する研修を３回、防災を２回、保育内容・関わりを４回行いました。職員会議時に、外部研修の報告を全員が行いました。 ②　保育情勢については、伝達講習を１回行いました。 **（４）**主幹保育教諭等研修を１名が受講終了し、来年度マイスター研修を受講します。５等級１名がマイスター研修を受講修了し、マイスターに認定されました。 **（５）**①　目標管理の目標決定、進捗状況の確認の面談を行いました。嘱託職員には、保育をすすめる上での面談を行い、話しやすい環境を整えるようにしました。 ②　３回行いました。正規職員の振り返りは理念行動評価を各職員が行い、それをもとに振り返り面談を行いました。
プラン３　利用者、職員の安全・安心を確保する	**プラン３　利用者、職員の安全・安心を確保する**
［安井保育園］ **（１）安全カメラを増設し防犯、事故が起こった場合の原因究明に努めます。** ①園庭に１台増設し、死角が無いようにします。 ②玄関内側に１台設置し降園時の混雑状況を把握します。 **（２）ＩＣＴ化を進めます。** ①ノートパソコン２台、スマートフォン５台（０歳児、１歳児と幼児クラス２台、一時預かり１台）導入します。 ②保育関係書類を保育業務支援システムパピーナに移行します。 ③職員の業務書類（公用外出届、有休申請、勤務変更届）をデータ化します。 **（３）乳児午睡安全確認システムを比較検討します。** ①各社のシステムを収集します。 ②比較後、試行します。 **（４）データ保存を cloud に全面移行します。** ①保育関係はパピーナ、業務関係は共有フォルダに保存します。 **（５）自己振り返りチェックリストの確認とそれをもとに学習会を行います。** ①全国保育士会のチェックリストを活用し、自己のかかわりを振り返ります。（11 月）	**［安井保育園］** **（１）**①②　園庭、玄関内側と全保育室内の見守りカメラの設置は令和７年度に行います。 **（２）**①　ノートパソコン２台を配置し、保護者との連絡ノートの記入を円滑にできるようにしました。スマートフォンは各クラスと一時預かりの計７台配置し、連絡が取りやすいようにしました。 ②　書類作成の移行を、幼児クラス、乳児クラスで検討しましたが、実施には至りませんでした。引き続き業務軽減に繋がるよう検討します。 ③　公用外出届、勤務変更届の提出をデータで申請に変更しました。有休申請はタッチオンタイムでの申請を開始しましたが、不就労届用紙の記入は継続しています。 **（３）**①②　試行を１週間行いましたが、各園児に装着する手間がかかるため、継続して検討することにしました。 **（４）**①　cloud 保存に移行しました。職員のデータの保存ミスが無いように再度保存方法の確認を行いなした。パピーナへの移行は次年度に順次行います。

（６）マニュアルの見直しと業務改善します。

①各種マニュアルの見直しと確認を行います。

②防災マニュアルの見直しと確認を行い、緊急時に円滑に対応できるようにします。

（７）防災体制を強化します。

①各災害（不審者、地震・津波、火災、夙川氾濫）を想定した図上訓練を行います。

②消火器、非常食、備蓄品等の保管場所を全職員が把握します。

③二次避難場所への避難を想定した訓練を行います。

（８）職員が安心して働き続けることができる職場環境を作ります。

①意見を出しやすいように、職員各々が相手の意見を傾聴します。

②各クラス、幼児クラス、乳児クラスで意見交換の場を持ちます。

プラン４　将来にわたり持続可能なサービスの提供の基礎をつくる

[安井保育園]

（１）少子化を見通した人員配置を行います。

①正規職員は１６名を上限とします。

②嘱託職員は７名を上限とし、新規契約者は固定勤務とします。

③パート職員は、早出、遅出の時間帯に適正に配置します。

（２）収益増を目指します。

①在園児２号、３号認定１０９名とし定員の１２０％を維持し、１号認定３名の入園を目指します。

②退園予定者には前月の５日までの報告を周知します。

③１号認定の募集をインスタグラム、ホームページ、玄関掲示版で行います。

④一時預かり利用者は2,000人を目指します。

⑤お迎えが閉園時間後になった場合の延長料金を500円から1,000円に変更します。

（３）園舎の経年劣化に伴う施設整備を計画的に行います。

①園庭の滑り台を撤去（安全基準を満たしていない）します。

②鉄棒下に緩衝マットを設置します。

③砂場の枠を修繕します。

④園庭南側壁基礎部分に緩衝マットを設置します。

⑤４歳児、５歳児保育室の天井扇を更新します。

⑥２歳児～５歳児保育室に換気扇を設置します。

⑦厨房エアコン２台更新、玄関にエアコンを設置します。

⑧１階トイレに扇風機を設置します。

（５）自己のかかわりの振り返りを全職員が11月に行いました。傾向がわかり、その内容について話し合いました。

（６）① 散歩マニュアルを見直し、散歩先での不審者対応を追加しました。

② BCPの見直しを行いました。

（７）① 不審者対応の学習会を行い改善点を出し合いました。

② 全職員が個別で、消火器の場所を確認し、図面に記入しました。非常食、備蓄品の保管場所を、各自で確認しチェックしました。

③ 火災を想定した二次避難の訓練を行いました。

（８）① 職員会議では、報告の時間を短縮し、職員からの疑問や意見を内容を問わず出してもらうようにしています。

② 幼児、乳児別クラス会議では、園児の報告事項や保育の進め方についての意見交換を行い、各クラスが同じ方向で園児に対応ようにしました。考え方の調整が必要な場合は、役職が面談し、保育教諭の思いを把握、理解に努めました。

プラン４　将来にわたり持続可能なサービスの提供の基礎をつくる

[安井保育園]

（１）① **正規職員は１６名の配置となっています。**

② **嘱託職員６名、常勤的非常勤職員（週３０時間以上勤務）２名を配置しました。**

③ **早朝パート（７時～８時３０分に出勤）は５名、遅出（１５時以降に出勤）３名の配置になりました。**

（２）① ２号、３号認定は108名、1号認定2名

② 途中退園者は6名あり、途中入園者も6名ありました。退園後の翌月入園は、円滑に進みました。退園者理由は市外転居が４名、転園２名でした。

③ ３歳児の応募は１名のみでした。途中入園はありませんでした。

④ 一時預かり利用者は2,045人でした。

⑤ 閉園の１９時以降のお迎えは延べ２１人ありました。

（３）① 撤去しました。

② 緩衝マットは厚みがあり、乳児がつまずき転倒する恐れがあるため、設置しませんでした。

③ 降雨後は、雨水が流れ込み、排水ができない状況のため、次年度以降枠を含めた全体の改修に変更します。

④ 予定していた緩衝マットは、昨今の気温の上昇に伴い劣化が早いことがわかり中止しました。

⑤ 更新しました。

⑥ 設置できませんでした。

⑦ 玄関のエアコンは、電力の容量の不足が予想されたため中止しました。厨房とランチルーム、医務室、休憩室のエアコンを更新しました。

⑨ 食洗器と同時に冷凍庫を更新しました。

（４）① 耐震化工事後12年経過しています。大規模改修を前提として、改善箇所とそのプランを職員より聴取しました。優先順位をつけ必要なところから順次進めます。

⑨給食室の食洗機を更新します。

（４）園舎建て替えの判断の材料を収集します。

①建て替えプランを検討します。

②西宮市立幼稚園、保育所の統合計画を把握します。

目指す姿　＜存在感のある法人を目指す＞

プラン５　地域の人々が利用したいと願うサービスを提供する

［安井保育園］

（１）　地域子育て支援の充実を目指します。

①自治会と協力して子育て支援講座を公民館で年に２回行います。

②妊婦を対象にした園見学と子育て相談を行います。

③子育て相談の受付をグーグルフォームで行います。

④園見学を５月より開始し、参加者に保育園を選ぶ基準のアンケートを行います。

⑤園庭開放を週１回行い、保育園を知ってもらう機会にします。

⑥一時預かりは、保護者のニーズに応えられるよう、利用時間、回数を臨機応変に対応します。

（２）地域とのつながりを大切にします。

①安井自治会・地域住民と協力し保育園近隣の清掃活動を行います。

②自治会のクリーン大作戦（年に２回）に参加します。

③安井自治会のリサイクル回収日（月１回）に協力します。

④青少年愛護協会主催の行事に協力します。

⑤地域の子どもの安全に関する企画・講座に協力します。

プラン６　ＳＤＧｓ達成に向けた取組など、これからの社会に貢献する法人を目指す

［安井保育園］

（１）　物品、食材の効率的な購入による配達回数の減少に努めます。

①夙川さくら保育園と給食メニューを統一化し、食材を共同購入します

②衛生材料、備品の価格を情報共有します。

③備品等は在庫数を管理し、計画的にまとめて購入することで配達回数を減らします。

（２）地産地消の取組を展開します。

①西宮市産の野菜を地元業者より購入し、メニューに取り入れます。

②地場産業の食材等をメニューに取り入れます。

③メニューを発信することで食育の取り組みをアピールします。

西宮産イチジクを使ったケーキ

② 公立幼稚園と保育所の合併による公立認定子ども園化は令和７年度から開始されます。夙川地区についての予定はまだ出ていませんが、少子化は進んでおり令和 11 年度を境に減少すると予想されています。2 園での今後の運営方法を検討します。（安井保育園）

目指す姿　＜存在感のある法人を目指す＞

プラン５　地域の人々が利用したいと願うサービスを提供する

［安井保育園］

（１）① １２月に、音楽療法士によるリズで遊ぼうを行い１０組の参加がありました。

② ６月に、ベビーマッサージと、先輩ママとの座談会を行いました。

③ 開始しましたが、利用はありませんでした。

④ 園見学は４月から９月末までで１０１名の参加がありました。アンケートの結果、一番多かったのは、家の近くの園でした。保育の質を上げられている方もありました。

⑤ 園庭開放は、２７回行いました。行事日と、８月９月は中止しました。

⑥ 保護者が利用しやすいように、３時間利用のコースを１０月に新設しました。

（２）① 保育園の前の道路の清掃を定期的に行っています。

② ６月、１２月のクリーン大作戦に参加しました。

③ 段ボールの回収日に協力しています。

④ まつりのチラシを掲示するのみになりました。

⑤ １１月の祭りに参加はできませんでした。

プラン６　ＳＤＧｓ達成に向けた取組など、これからの社会に貢献する法人を目指す

［安井保育園］

（１）① 給食メニューは栄養士同士が確認し、統一しました。

② 衛生材料は同一の業者から購入し、価格は同一価格となっています。

③ 給食に関する備品の購入履歴をデータ化し、購入時期と使用頻度を明確にし、それに合わせて、さらに見積を複数から聴取し購入しました。

（２）① 西宮市内の八百屋より購入しました。

② 酒粕のケーキを提供しました。

③ インスタグラム、ブログで発信しました。玄関に掲示することで、見学者にも見てもらいました。離乳食のメニューを写真で掲示しました。

酒粕ケーキ

酒粕をお鍋で加熱し酒の成分を無くしました。

（３）経費節減、節電、節水、ペーパレスに取り組みます。 ①紙の書類の作成・配布をパピーナによる配信に変更します。 ②備品等の購入は物品購入願の提出を原則とし、購入履歴を明確にします。 ③備品等は見積を徴取し価格を把握し、購入を検討・決定します。 **（４）ＳＤＧｓの取組を幼児クラスの保育内容に取り入れます。** ①ものを大切にすることを伝えます。 ②節電・節水など子どもたちと一緒に考える機会を持ちます。	（３）① 保護者に配布していた書類、アンケート等はすべて配信に移行しました。 ② データによる物品購入願を確認することで、不足、重複が無くなりました。 ③ 保育用品は、少額でも数量が多い場合は、見積もりを取っています。 （４）①② 幼児クラスで絵本を使って、伝えました。
プラン７　地域の福祉人材を育てる **［安井保育園］** **（１）卒園児の小学１年生、中学１年生の保育園訪問の機会を作ります。** **（２）甲山高校生対象に保育園訪問の機会を作ります。** **（３）トライやるウィークの中学生２名を受け入れます。**	**プラン７　地域の福祉人材を育てる** **［安井保育園］** （１）７月に中学１年生の集いを行い１０名、８月の小学１年生の集いには、１９名の参加がありました。 （２）１２月に甲山高校の１年生１０名が来園し、一緒にゲームや歌を楽しみました。３月には、神戸ストークスの下部組織の中学生がバスケットボールを披露し、５歳児と一緒に楽しんでいただきました。 （３）１名のみの受け入れとなりました。
プラン８　人々に信頼される法人を目指す **［安井保育園］** **（１）新たな資格取得により保育の質の向上につなげます。** ①自己研修制度の活用による心理士の資格取得を支援します。 **（２）コンプライアンスを遵守します。** ①指導監査の文書、口頭指摘事項を全職員で共有し改善します。 ②西宮市からの通知、周知事項に速やかに職員、保護者に発信し周知します。 **（３）園の自己評価と振り返りをします。** ①認定こども園の自己評価シートによる振り返りを行います。 ②保護者アンケートを年に２回行い、満足度を把握し、保育に活かします。 ③父母会の要望をもとに意見交換会を年に１回行います。 ④ハラスメントチェックリスト（法人）を行います。	**プラン８　人々に信頼される法人を目指す** **［安井保育園］** （１）① 資格取得についての提案をしましたが、希望者はありませんでした。医療的ケア児受け入れに向けて兵庫県の研修を１名が受講しました。 （２）① ７月の指導監査では、「報告を要しない指摘」がありました。その内容と改善策を全職員に周知し、改善策に取りくみました。保護者にもお便りで周知しました。おもちゃの購入時には、ST 安全マークを確認しました。 ② 感染症流行時、台風接近時の情報を職員、保護者に配信しました。 （３）① 年度末に行います。 ② ２月に１回行い、保護者からの意見については回答をパピーナで全保護者に知らせ、玄関にも掲示しました。 ③ 父母会の要望をもとに意見交換会を行い、回答は保護者に伝えられました。 ④ チェック項目の２項目に延べ３人のチェックがありました。普段からの職員と話す機会を持ち、各職員の様子を理解することを役職間で再度確認しました。職員会議では、各自が気になることがあれば話しやすい人にまず話すことをしてみましょうと提案しました。